

有田市の子どもたちの状況

令和7年度 全国学力・学習状況調査の結果から

全国学力・学習状況調査は、「義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図ること」を目的に実施しています。これらの結果を見習い、児童生徒の学力や学習状況を測る一つの指標として、全国の状況等をもとに分析し、成果と課題を検証するとともに、教育活動の充実や日々の授業改善を図り、児童生徒一人一人の学習状況の改善等につなげていきます。

1. 調査概要

- ◆調査日時：令和7年4月17日（木）
- ◆調査事項：①児童生徒：教科調査〔(小)国語・算数・理科 (中)国語・数学・理科 (※CBT)〕
質問調査〔生活習慣や学習環境等に関する調査〕
- ②学 校：質問調査〔学校における指導方法や教育条件の整備の状況等に関する調査〕
- ◆対象学年：小学校6年生及び中学校3年生
- ◆調査の特徴：CBT 調査の導入（中学校理科）
- ◆市内実施学校数及び参加人数
 - ・小学校調査・・・7校（155名）
 - ・中学校調査・・・1校（143名）



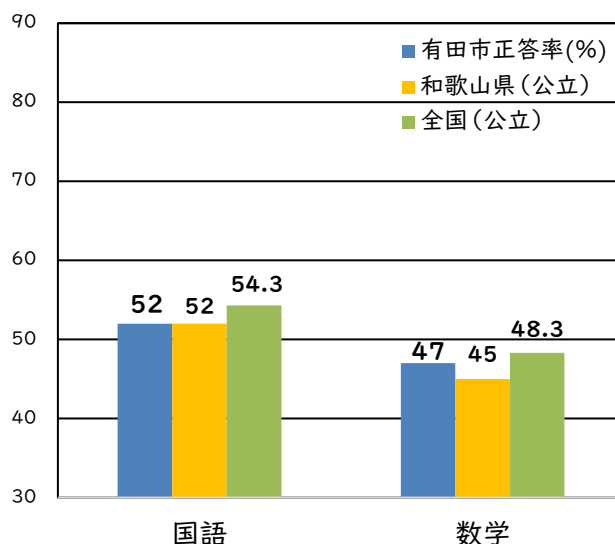
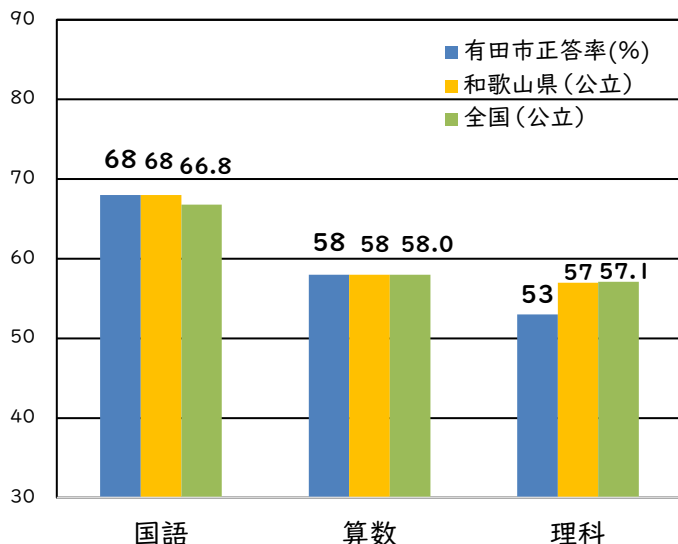
令和7年度は、中学校理科がCBT（※CBT：Computer Based Testingの略でコンピュータを利用して実施する形式）での実施となりました。調査結果は平均IRTスコアで示されています。

2. 教科に関する調査結果概要

① 各教科における調査問題数と平均正答数（※中学校理科についてはCBTによりIRTスコアでの結果を公表のため記載なし）

小学校6年生	国語	算数	理科	中学校3年生	国語	数学
調査問題数	14問	16問	17問	調査問題数	14問	15問
全国平均正答数(問)	9.4問	9.3問	9.7問	全国平均正答数(問)	7.6問	7.2問
有田市平均正答数(問)	9.5問	9.3問	9.0問	有田市平均正答数(問)	7.3問	7.0問

② 各教科における平均正答率（％）



小学校6年生

中学校3年生

③ 中学校理科調査結果(平均 IRT スコア)

平均 IRT スコア	
有田市教育委員会	479
和歌山県(公立)	480
全国(公立)	503

有田市中学校理科調査結果においては、全国平均 IRT スコアを24ポイント下回っています。中学校理科については、全体として課題がみられます。

「IRT スコア」

項目反応理論 (IRT: Item Response Theory) に基づいて算出された、受験者の学力(能力)を推定した数値のことです。これは従来のテストで用いられる単純な正答数や正答率とは異なり、問題の難易度や識別力を考慮に入れて算出されるため、より正確で公平な学力評価を可能にします。

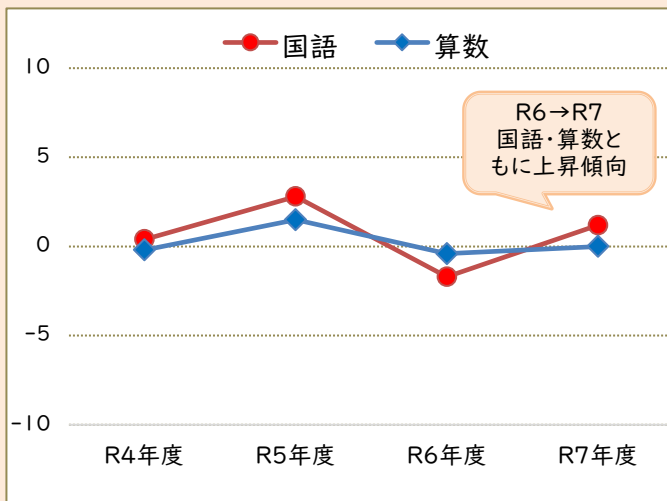
●難易度とスコアの関係:

- ・難易度の高い問題に正答した場合はスコアが高くなります。
 - ・難易度の低い問題に誤答した場合はスコアが低くなります。
- ※同じ正答数であっても、解いた問題の組み合わせによってスコアが異なります。

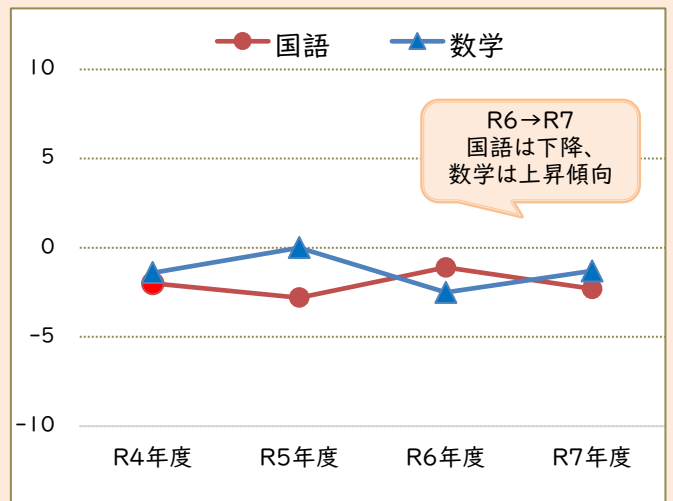
④ 有田市児童生徒の平均正答率と全国平均正答率との「差」の経年変化[国語・算数(数学)]

以下のグラフは、各年度の全国学力・学習状況調査において、有田市の小学校6年生と中学校3年生の平均正答率が全国平均正答率と比べてどのように推移しているかを示しています。(0が全国平均正答率と同じ値を表しています。)

小学校6年生



中学校3年生



3. 教科に関する調査結果

国語 【学習指導要領の内容別正答率】

国語		小6	中3
知識及び技能	(1)言葉の特徴や使い方に関する事項	○	—
	(2)情報の扱い方に関する事項	○	—
	(3)我が国の言語文化に関する事項	○	—
思考力、判断力、表現力等	A 話すこと・聞くこと	○	▼
	B 書くこと	○	—
	C 読むこと	○	—
問題形式	選択式	—	—
	短答式	◎	▼
	記述式	◎	—

◎…全国と比べて3pt以上高い

○…同程度(全国平均以上)

—…同程度(全国平均以下)

▼…全国と比べて3pt以上低い

小学校6年生では、「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」すべての項目で全国平均を上回っています。問題形式では特に「記述式」の問題の正答率が高い結果となっています。

中学校3年生では、すべての項目において全国を下回っており、特に「話すこと・聞くこと」において課題がみられます。

【小学校 国語】(◇できている ◆課題がある 数字は正答率)

◇「話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめることができるかどうかをみる」[1三(2)]は、全国平均を大きく上回っています。

(有田市 79.4% 全国比+5.7pt)

◆「事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握する」[3二(2)] ことについて課題があります。

(有田市 47.1% 全国比-4.2pt)

【中学校 国語】

◇「目的に応じて、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすることができる」[1二] ことはできています。(有田市 82.7% 全国比+0.2pt)

◆「資料や機器を用いて、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫する」[2四] ことに課題があります。

(有田市 22.3% 全国比-0.9pt)

有田市正答 47.1%
全国正答 51.3%

誤答「3」を選択
有田市 29.7%

《要旨を把握するには》

文章の各部分だけを取り上げるのではなく、文章全体の構成を捉えることが重要。



1 時代とともに言葉の意味が変わる。

2 時代とともにものの使い方が変わる。

3 時代によってものの呼び方がちがう。

4 時代によって言葉の使い方が変わらな

(2) 木村さんのメモ【イ】に当てはまる内容として最も適切なものを、【資料3】を読み、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましよう。

【資料3】を読み、【木村さんメモ】の空欄イに当てはまる内容として適切なものを選択する。

【資料3】
とでもできる?できない?

今、あなたは「勉強がとでもできる」という言い方を变だとは思わないでしょう。「とでも」は「非常に」の意味を表します。ところが、100年ほど前の大正時代、作家の芥川龍之介は、「とても安い」「とても寒い」という言い方は新しいと書いています。それより前の時代には、「とてもかなわない」「とてもまともでない」のように、「とてもくらない」の形で言ったのです。つまり、大正時代よりも前は、「勉強がとでもできる」とは言わず、「ぼくには、そんなことはとでもできない」と言っていたんですね。この場合の「とても」は、「どうしても」「どうして」という意味を表します。

こんな話を聞くと、「じゃあ、これからは「とでもできない」と言おう、「とでもできる」とは言わないようにしましょう」と思いかもしれません。でも、その必要はありません。もっと古い時代、室町時代には、「とても」は「どうせ」の意味で使っていました。たとえば、「とても散るべき花」と言えば、「どうせ散る花」という意味です。

ことは昔の意味だけで使おうと思ったら、現代では暮らせなくなってしまう。昔はどうだったかを知ることは大事ですが、「現代ではどう使われているか」を理解することも大事です。現代人は、ことは現代の意味で使うのが一番いいのです。

(飯間浩明「日本語をつかまえる」による)

【木村さんのメモ】
言葉の変化について分かったこと
「あたらしい」は新しい形

(奈良時代) (平安時代) (今)
あたらし ↓ ア ↓ あたらしい

時代とともに言葉の形が変わる。

とでもできる?できない?

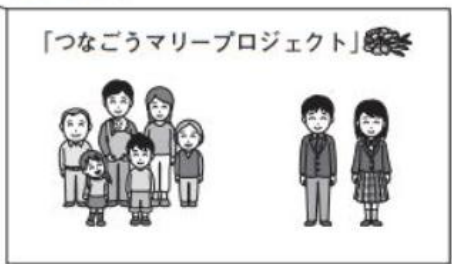
(室町時代) (大正時代より前) (今)
どうせ ↓ どうしても、どうして ↓ 非常に

イ

<中3国語>
大問2四

四 村田さんは、【村田さんのスピーチ】の [] の内容をより分かりやすく伝えるために、<スライド⑤>を工夫したいと考え、あなたに助言を求めています。あなたなら、どのように助言をしますか。あとの【工夫の仕方】のAからCまでの中から1つ選び(どの【工夫の仕方】を選んでもかまいません。)、条件1と条件2にしたがって、村田さんへの助言を書きなさい。

<スライド⑤> <問題より一部抜粋>



【村田さんのスピーチ】の []

今行っている活動を工夫することで、私たちのマリーゴールドと、花を育てる楽しみが地域にも広がります。学校と地域が、マリーゴールドでつながったら、すてきだと思いませんか。

【工夫の仕方】

- A <スライド⑤>に、言葉を加える。
- B <スライド⑤>のイラストを修正したり、イラストを付け加えたりする。
- C AとBとを組み合わせる。

【正答例】

C: 中学生が地域の方に種を手渡しているイラストに修正して、その下に、「花を育てる楽しみを地域へ」と書き加えると、残った種を活用した活動で花を育てる楽しみを広げようとしていることがより分かりやすくなると思うよ。

条件1 選んだ【工夫の仕方】について、どのように工夫するかを、具体的に書くこと。

条件2 条件1で工夫したことにより、どのように分かりやすくなるかについて、【1二】の内容を具体的に取り上げて書くこと。

有田市正答 22.3%
全国正答 23.2%



《自分の考えを分かりやすく伝えるためには》

- ・話の要点や根拠が明らかになっているか
- ・説明が不足していないか などの確認が必要。

算数・数学 【学習指導要領の領域別正答率】

◎…全国と比べて3pt以上高い ○…同程度（全国平均以上）
 -…同程度（全国平均以下） ▼…全国と比べて3pt以上低い

算数 / 数学	小6	中3
A 数と計算 / A 数と式	—	—
B 図形	○	○
C 測定	○	△
C 変化と関係 / C 関数	▼	▼
D データの活用	—	▼

小学校6年生、中学校3年生とも「B図形」の領域において全国平均を上回っています。
 「C変化と関係/C関数」においては、小中ともに全国平均を3ポイント以上上下回っています。
 また、中学校3年生においては「Dデータの活用」においても課題がみられます。

【小学校 算数】(◇できている ◆課題がある 数字は正答率)

◇「異分母の分数の加法の計算をする」[3(4)] ことについて全国平均を大きく上回っています。
 (有田市 86.5% 全国比+5.2pt)

◆「『10%増量』の意味を解釈し、『増量後の量』が『増量前の量』の何倍になっているかを表す」[4(4)] ことに課題があります。(有田市 38.1% 全国比-2.8pt)

【中学校 数学】

◇「必ず起こる事柄の確率について理解している」[7(1)] ことはできています。
 (有田市 79.1% 全国比+1.7pt)

◆「事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明する」[8(2)] ことに課題があります。
 (有田市 25.9% 全国比-12.1pt)

<小6算数>大問4(4) (「C変化と関係」領域)

【問】つめかえ用のハンドソープがのっている広告を見ました。広告には、つめかえ用のハンドソープが「10%増量」と書かれています。増量前のつめかえ用のハンドソープの量は800mLです。



<問題より一部抜粋・引用>

【問】増量後のハンドソープの量は、増量前のハンドソープの量の何倍ですか。上アにあてはまる数を、下の1から4までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。

- 1 0.1 **誤答「1」有田市 42.6%**
 2 1.1
 3 10 **有田市正答 38.1%**
 4 110 **全国正答 40.9%**

<中3数学>大問8(2) (「C関数」領域)

【問】歩夢さんは、スタジアムの近くに新しい駅をつくる計画があることを知り、A駅から新しい駅までの運賃がいくらになるのか気になりました。そこで、A駅からの走行距離と運賃をインターネットで調べ、次のような表にまとめました。

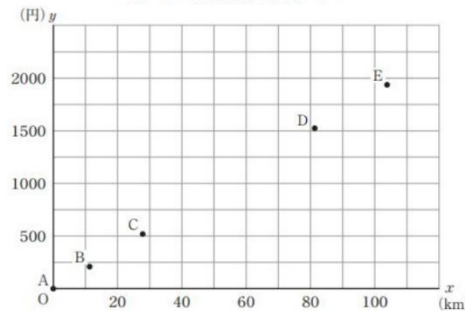


<問題より一部抜粋・引用>

調べた結果

	A駅	B駅	C駅	D駅	E駅
A駅からの走行距離(km)	0.0	11.4	27.7	81.9	104.6
A駅からの運賃(円)	0	210	510	1520	1930

A駅からの走行距離と運賃のグラフ



有田市正答 25.9%
全国正答 38.0%

〔無解答率〕
 有田市 43.2%
 全国 35.0%

(2) 歩夢さんがさらに調べると、新しい駅はA駅から60.0kmの地点につくられることがわかりました。A駅から新しい駅までの運賃を予測するために、A駅からの走行距離と運賃のグラフにおいて、原点にある点Aから点Eまでの点が一直線上にあるとして考えることにしました。このとき、A駅から新しい駅までの運賃はおよそ何円になるかを求める方法を説明しなさい。(数値を求めるは必要なし)



中3数学【正答例】 ※グラフを用いる方法
 実際にグラフをかき、x座標が60のときのy座標を読むことについて、運賃を求める方法が明確に記述できていることが必要。

〈グラフを用いる場合〉

比例のグラフを基にy座標を読むと、運賃はおよその値になります。が1100円くらいでした。

見通し
 原点である点Aから点Eまでの5つの点の近くを通るように直線をかいてから、y座標を読めばよい。

グラフをどう読み取って1100円になったのかな。

x座標が60のときのy座標を読み取ったよ。

x座標が60のときを読み取ることを説明に加えると分かりやすくなりますね。

グラフを読むと、細かい計算をせずに一目で確認できるね。

理科 【学習指導要領の領域別正答率】

	小学校理科	小6
A 区分	エネルギー	▼
	粒子	▼
B 区分	生命	○
	地球	—

【小学校 理科】(◇できている ◆課題がある 数字は正答率)

◇「赤玉土の粒の大きさによる水のしみ込み方の違いについて、結果を基に結論を導いた理由を表現する」[1(2)] ことについて全国平均を大きく上回っています。

(有田市 71.6% 全国比+11.1pt)

◆「乾電池のつなぎ方について、直列つなぎに関する知識が身に付いている」[2(4)] ことに課題があります。(有田市 42.6% 全国比-12.5pt)

【中学校 理科】

◆「身の回りの事象から生じた疑問や見いだした問題を解決するための課題を設定する」[1(2)] ことに課題があります。

(有田市 39.2% 全国比-7.0pt)

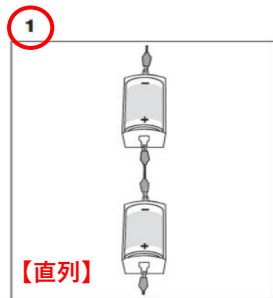
◆「スケッチから分かる植物の特徴を基に、植物の葉、茎、根のつくりに関する知識及び技能を活用して、植物の茎の横断面や根の構造について適切に表現できるかどうかをみる」[6(2)] ことについて全国平均を大きく下回っています。

(有田市 28.7% 全国比-13.2pt)

※【中3理科について】個人の結果は5段階の IRT バンドで表示・返却。全国平均が3で、5が最も高いバンドとなる。IRT バンドは問題の分類(学習指導要領の領域、評価の観点等)別には示されないため表示しない。

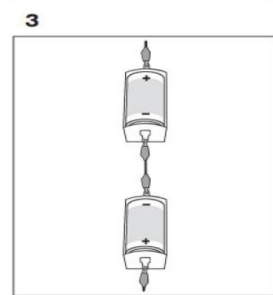
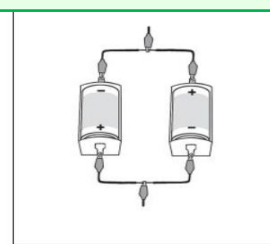
<小6理科> 大問 2(4)「エネルギー」領域

【問】かん電池 2 個を直列につなぎ、電磁石の強さを最も強くできるのは、どのようなつなぎ方ですか。下の 1 から 4 までの中から 1 つ選んで、その番号を書きましょう。

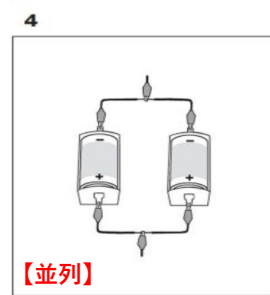


【直列】

誤答「2」有田市 34.8%



3



【並列】



ものづくりなどの活動を通して、知識と知識、知識と具体物とを相互に関係付けて意味を捉えるようにすることで、学習内容を深く理解することができるようにすることが大切。

有田市正答 42.6%
全国正答 55.1%

<中3理科> 大問 6(2)「生命」領域

図5は牧野富太郎によるサクユリのスケッチです。



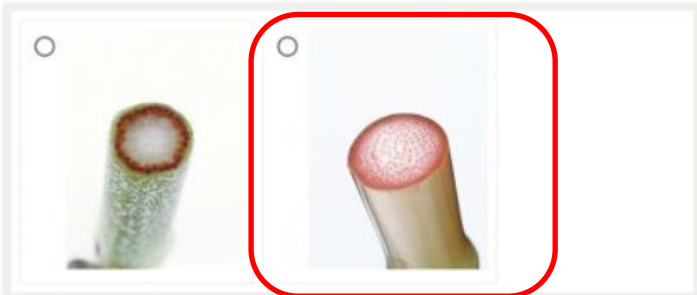
サクユリの特徴がよく分かるようにかかれてあるスケッチですね。



このスケッチから、サクユリの【茎の横断面】と【根】がどのようなになっているか、予想できますね。

【問】下線部について、最も適切に表しているものをそれぞれ1つずつ選びなさい。

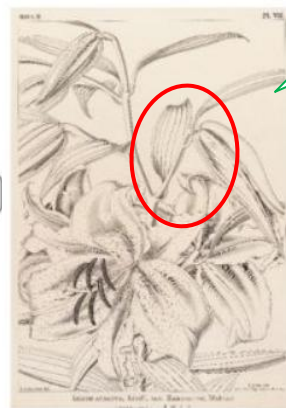
【茎の横断面】赤い水を根から吸わせた結果



有田市正答 28.7%
全国正答 41.9%



身近な双子葉類と単子葉類の外部形態である根や葉のつくりと、内部形態である茎の断面のつくりを観察し、それらの特徴を捉えるとともに、葉から茎の断面や根のつくりを推測できるようにすることが大切。



葉の形をよくみると...

【ポイント】

図5のスケッチより葉脈の形状が平行であることから、サクユリは単子葉類であると推定できる。

【正答】

茎は道管(水の通り道)が均等に配置されているもの(右図)、根はひげ根(右図)を選択する。

図5

出典 高知県立牧野植物園

【根】



質問調査の結果から ※数字は児童生徒の割合 (%)

基本的な生活習慣に関すること ～1日の始まりに朝ごはんを～

質問項目 5%以上高い…ピンク 5%以上低い…青 (※「している/どちらかといえばしている」と答えた割合)	小6			中3		
	有田市	全国	差	有田市	全国	差
朝食を毎日食べていますか	91.5	93.7	-2.2	83.4	91.2	-7.8
毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか	84.9	81.9	3.0	83.4	81.0	2.4
毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	91.6	91.0	0.6	94.3	92.6	1.7

朝食を食べることは、脳・体・心の健康に深く関わる一日の始まりに欠かせない大切な習慣です。炭水化物を補給することで、脳にエネルギーが送られ、集中力や記憶力が向上し、午前中から仕事や勉強の効率が上がります。規則正しく朝食を食べることで、生活リズムや身体の調子を整えるとともに、健康な体の土台を作ることにもつながります。

各学校においては、児童生徒の発達段階に応じて、授業等で自身の健康について考える機会をつくるとともに、引き続き必要な情報を発信し、家庭との連携・協力のもと取組を進めていきます。



挑戦心, 達成感, 自己有用感等に関すること

質問項目 5%以上高い…ピンク 5%以上低い…青 (※「当てはまる/どちらかといえば当てはまる」と答えた割合)	小6			中3		
	有田市	全国	差	有田市	全国	差
自分には、よいところがあると思いますか	89.8	86.9	2.9	86.0	86.2	-0.2
将来の夢や目標を持っていますか	89.2	83.1	6.1	72.6	67.5	5.1
困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか	86.1	70.6	15.5	84.8	73.2	11.6
学校に行くのは楽しいと思いますか	92.1	86.5	5.6	91.0	86.1	4.9
自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか	85.6	78.1	7.5	81.5	79.2	2.3

学習習慣等に関すること

質問項目 5%以上高い…ピンク 5%以上低い…青 (※「当てはまる/どちらかといえば当てはまる」と答えた割合)	小6			中3		
	有田市	全国	差	有田市	全国	差
分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか	91.6	81.7	9.9	81.5	77.5	4.0
学校の授業時間以外に、普段(月～金曜日)1日当たり1時間以上勉強をしている割合(学習塾・家庭教師・インターネット活用も含む)	56.6	54.0	2.6	56.7	61.6	-4.9
読書は好きですか	72.3	69.7	2.6	57.3	61.6	-4.3

「将来の夢や目標を持っていますか」「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか」などの項目について、令和6年度に引き続き、小学校6年生、中学校3年生ともに全国平均を大きく上回っています。急速な社会の変化の中で、一人一人の児童生徒が自分のよさや可能性を認識するとともに、多様な人々と協働しながら、持続可能な社会の創り手となることが求められています。

各学校では特色ある教育活動を展開し、児童生徒一人一人の資質・能力をさらに伸ばしていけるよう、学校教育全体で取組を進めてまいります。



ICT を活用した学習状況，主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関すること

質問項目 5%以上高い…ピンク 5%以上低い…青 (※「当てはまる/どちらかといえば当てはまる」と答えた割合)	小6			中3		
	有田市	全国	差	有田市	全国	差
5年生までに(1,2年生のとき)に受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を ほぼ毎日(複数の授業で)活用した と回答した割合	30.7	24.5	6.2	88.5	29.5	59.0
ICT機器を使って情報を整理する(図、表、グラフ、思考ツールなど)を使ってまとめることができると思いますか	75.9	69.3	6.6	74.5	63.3	11.2
ICT機器を使って学校のプレゼンテーション(発表スライド)を作成することができると思いますか	84.9	76.3	8.2	83.4	76.6	6.8
5年生までに(中1,2の時に)受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか	89.1	80.3	8.8	73.3	77.7	-4.4
5年生までに(中1,2の時に)受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか	85.0	77.8	7.2	71.3	70.6	0.7
学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができると思いますか	89.2	79.4	9.8	80.9	73.4	7.5

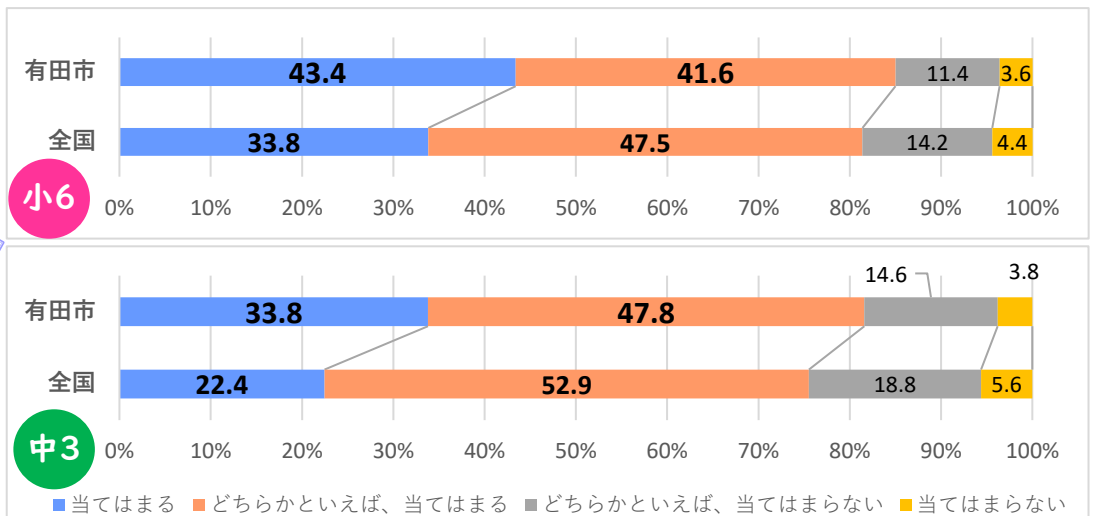
特に中学校においては、全国と比較して、ICT機器の活用がかなり進んでいる状況にあります。

一人一人の子供を主語にした学びを実現するために、学校教育の基盤的なツールとして、ICTは必要不可欠であると考えています。市内各学校においては、子供たちが学びのツールとして端末を活用して考えをまとめたり、伝え合ったりする姿が日常的に見られるようになってきています。子供たちが社会に出てからも学び方や学んだことを生かせるように、各教科等における授業改善に努めてまいります。

地域や社会に関わる活動の状況等に関すること

質問項目 5%以上高い…ピンク 5%以上低い…青 (※「当てはまる/どちらかといえば当てはまる」と答えた割合)	小6			中3		
	有田市	全国	差	有田市	全国	差
地域の大人に、授業や放課後などで勉強やスポーツ、体験活動にかかわってもらったり、一緒に遊んでもらったりすることがあります(習い事は除く)	50.0	39.4	10.6	30.6	29.5	1.1
地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか	85.0	81.3	3.7	81.6	75.3	6.3

Q.「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか」に対して「当てはまる」と回答した割合に着目すると、小6・中3ともに、全国と比べて10pt程度高くなっています。



市内全ての小中学校にコミュニティ・スクールを導入して9年目になります。地域の人々と多様な活動を通じて学ぶことで、さまざまな学びや気づきを得ることができます。引き続き、これからの社会を生きるために必要な資質・能力の育成とともに郷土に対する誇りや愛情を育ててまいります。